



街に開かれた物流施設として、STREAMLINEをコンセプトにデザイン。

「Streamline」をコンセプトに川の流線形を描くことで、  
スピーディーな物の流れと前景に臨む川の大きな流れを表現。  
鎖的な空間で働くスタッフに対し、リバーサイドの空気管や  
風景を延長することで、開放的な内部空間を構築



業界トップレベルの基本性能が、機能性と快適性の両立を実現。



#### 免震構造

耐震構造に比べ地震力を1/3程度に低減。震度6強程度の地震でもほぼ損傷しない設計です。



#### 非常用発電

事務所エリアや一部倉庫には、停電時を見据えた最大72時間分の非常用電源を確保しています。



#### 太陽光パネル

太陽光発電設備により電力を自家消費する他、余剰電力を板橋区内の小中学校へ供給します。



#### 汎用性の高い倉庫



#### 45ftコンテナ車両対応



#### 快適なオフィス空間



## 様々なメリットを備えた立地に誕生。

- ▶東京23区内、最寄駅から徒歩10分の良好なアクセス
- ▶雇用確保において有利な立地、地域の雇用創出にも貢献
- ▶都心部に加え、首都圏北部地域を網羅できる広域配送拠点



航空写真(2007年)

※国土地理院より引用

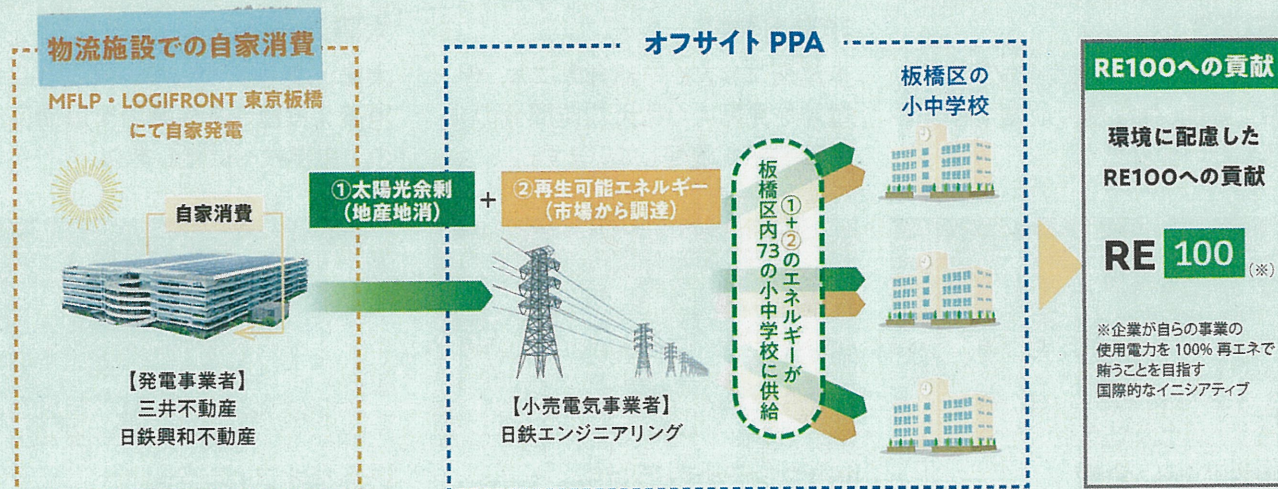


## 官民連携での災害対策設備を整備。

- ▶あおぞら広場には災害時に活用可能なヘリポートを設置。
- ▶荒川と新河岸川の洪水に備えた災害拠点として活用。  
緊急退避が必要な場合には、区立公園からデッキを退避路として活用し、施設内に一時退避が可能。
- ▶施設内には、緊急物資の輸送拠点として「板橋区災害時配送ステーション」を設置

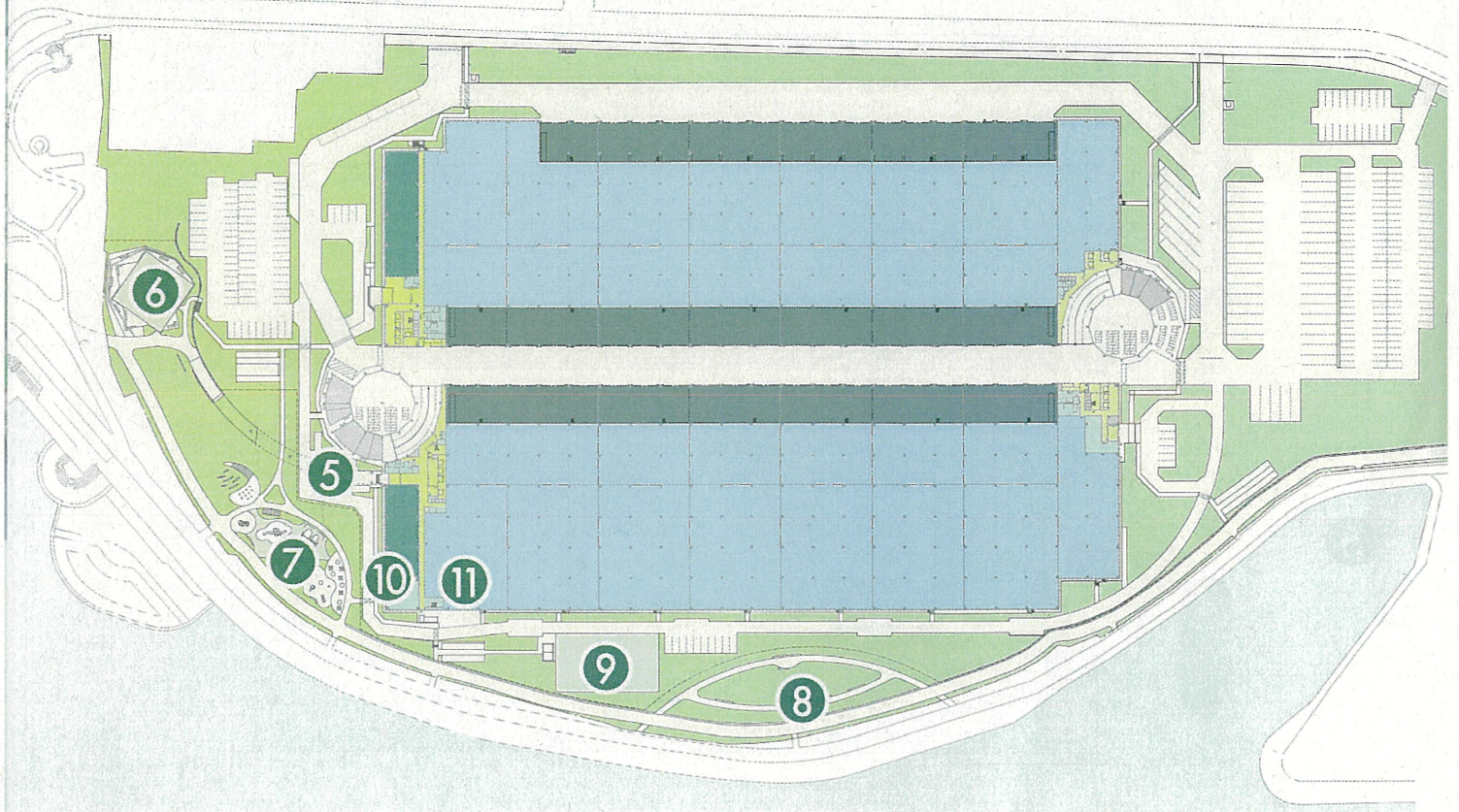


## 太陽光発電設備(物流施設での自家消費)から余剰電力を自治体施設へ供給(オフサイトPPA)する国内でも新しい取り組みです。





## 〈1F 平面図／敷地配置図〉



## ドローンによる実演デモンストレーション

### 6 あおぞら広場実演 〈10:50 ~ 12:00〉

外壁点検や太陽光パネル点検を想定した飛行実演を行います。



#### Matrice 300 RTK

最大飛行時間55分・最先端のAI性能・6方向検知&測定技術等、多数の機能を搭載した高性能産業ドローン

### 9 ネットフィールド実演 〈11:00 ~ 12:00〉

5面をネットに囲まれたフィールドでドローンスクールの実演を行います。

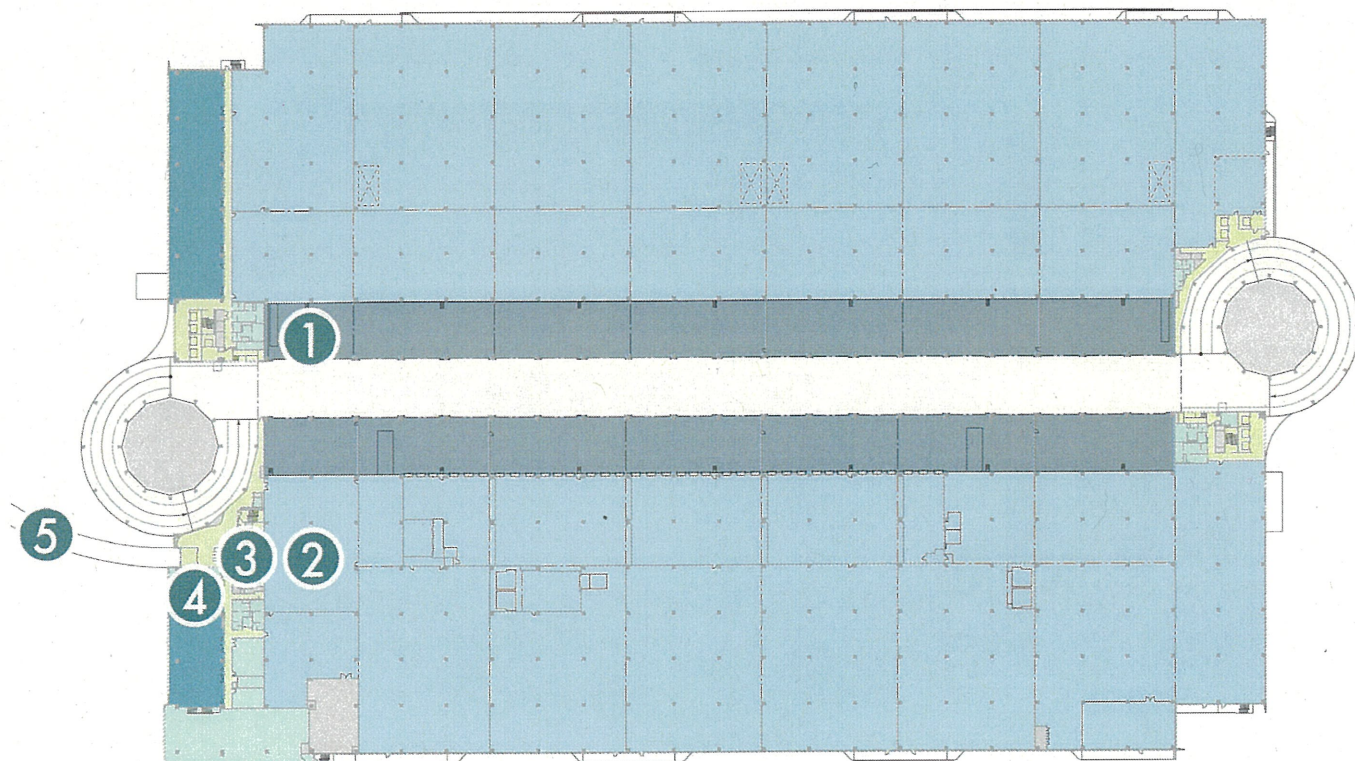


#### ELIOS 3

GPSの届かない地下ピットなどの屋内や橋梁などあらゆる場所で、施設・整備情報を高精度かつリアルタイムにデータ化する点検・測量ドローン



## 〈2F 平面図〉



### 1 倉庫



梁下有効天井高5.5m、床の積載荷重1.5t/m<sup>2</sup>を確保した広大なスペースを実現。4階南西側も倉庫内見学が可能です(※冷凍冷蔵倉庫は見学不可)。

### 2 板橋区災害配送ステーション



地域の防災力向上に資する取り組みとして、板橋区の災害物資の保管・配送拠点を併設。テナント・ヤマト運輸様による協力で防災拠点として運用予定です。

### 3 2階エントランス



内装を座って眺められる多様な家具が設置されており、1階エントランスと同様にフラッパーゲートが設置されています。

### 4 防災センター



24時間365日の有人警備を実現。施設内の巡回及びモニターによる監視、消防設備の管理等を通じ、安心安全な事業運営をサポートします。



5

## デッキスロープ



地上レベルの敷地内通路と建物2階のエントランスを緩やかに結ぶ歩行者専用のデッキ。歩車分離の動線によりワーカーの安全性に配慮しました。

6

## あおぞら広場



隣接する区立舟渡水辺公園と一体的に整備された高台の広場。地域住民にも開放されたこの広場は、災害時にヘリポートとしても活用されます。

7

## わくわく広場



ボーネルンド社がプロデュースした遊具を配した子どもたちの遊び場。多世代を迎え入れる街区のかたちが周辺地域の活性化に寄与します。

8

## はなの広場



一年を通じて花を楽しめる広場。四季折々の美しい景観が、施設で働くワーカーや水辺を散策する地域住民にささやかな癒しを届けます。

9

## ネットフィールド



ドローンのフリー飛行フィールド。ドローンの操縦パイロットを育成するためのスクールの実施やフットサルコートとして開放される予定です。

10

## 有人コンビニ



※完成前スペースイメージ

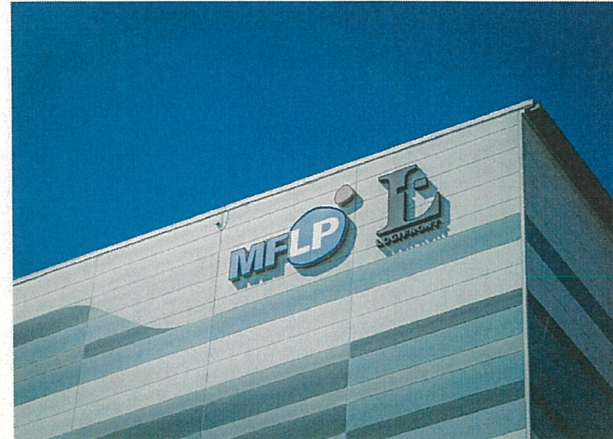
2階のラウンジから階段でアクセスできるコンビニ。弁当や菓子、ドリンクなどの食料品のほか、日用品や事務用品などが揃い、一般の方も利用可能です。

11

## Drone Lounge

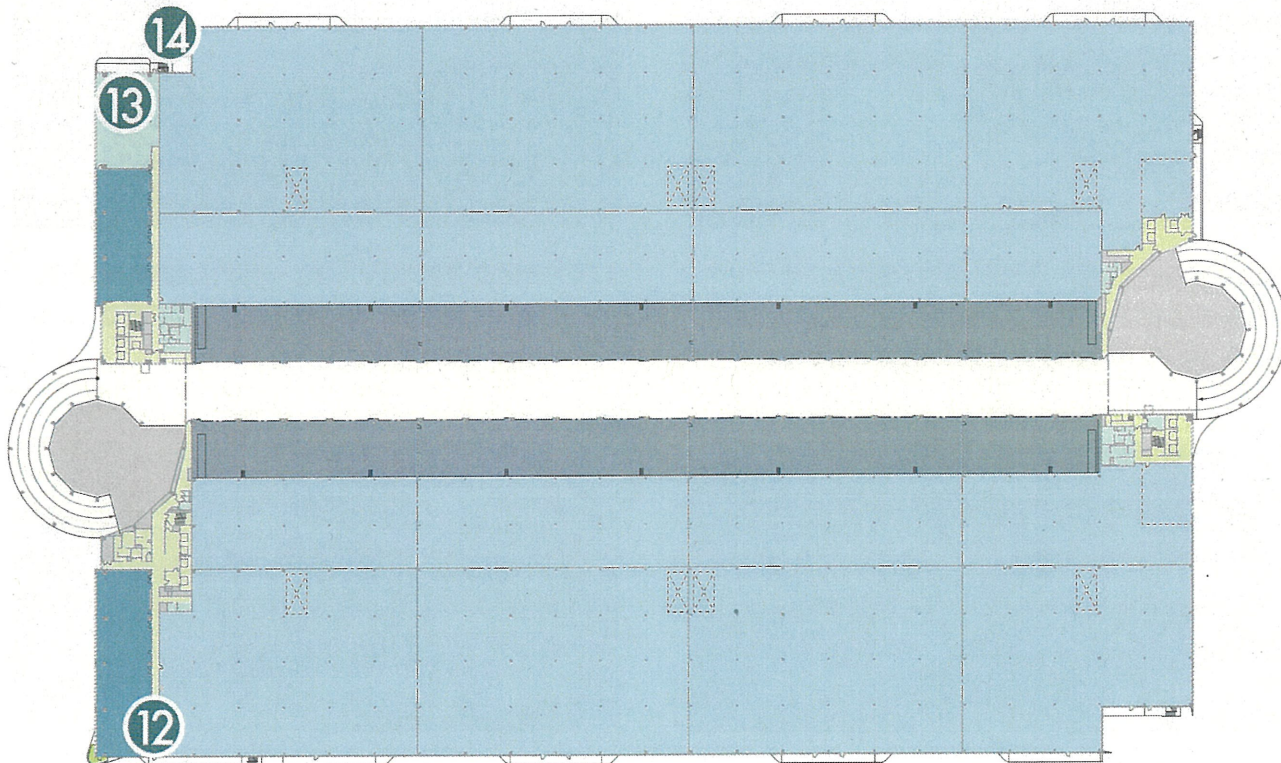


ドローン飛行の予約待機場所を兼ねたラウンジスペース。新しいドローンビジネスを加速する大型モニター付き会議室も併設されています。





## 〈6F 平面図〉



12

トイレ・喫煙所



トラックバスにつながる通路に、清潔感溢れるドライバー用トイレを配置。また、通路の一角には喫煙所も設置しています。

13

View Lounge



窓の外に晴れやかな眺望が広がるスタイリッシュなラウンジ。テナントワーカーの休憩所とミーティングスペースを兼ねた空間です。

14

ドローンポート



屋上テラスには、ドローンの自動操縦・自動充電を行うドローンポートを設置。将来的なドローン物流を見据えた最先端の設備です。





## MFLP・LOGIFRONT 東京板橋における板橋区の防災機能について

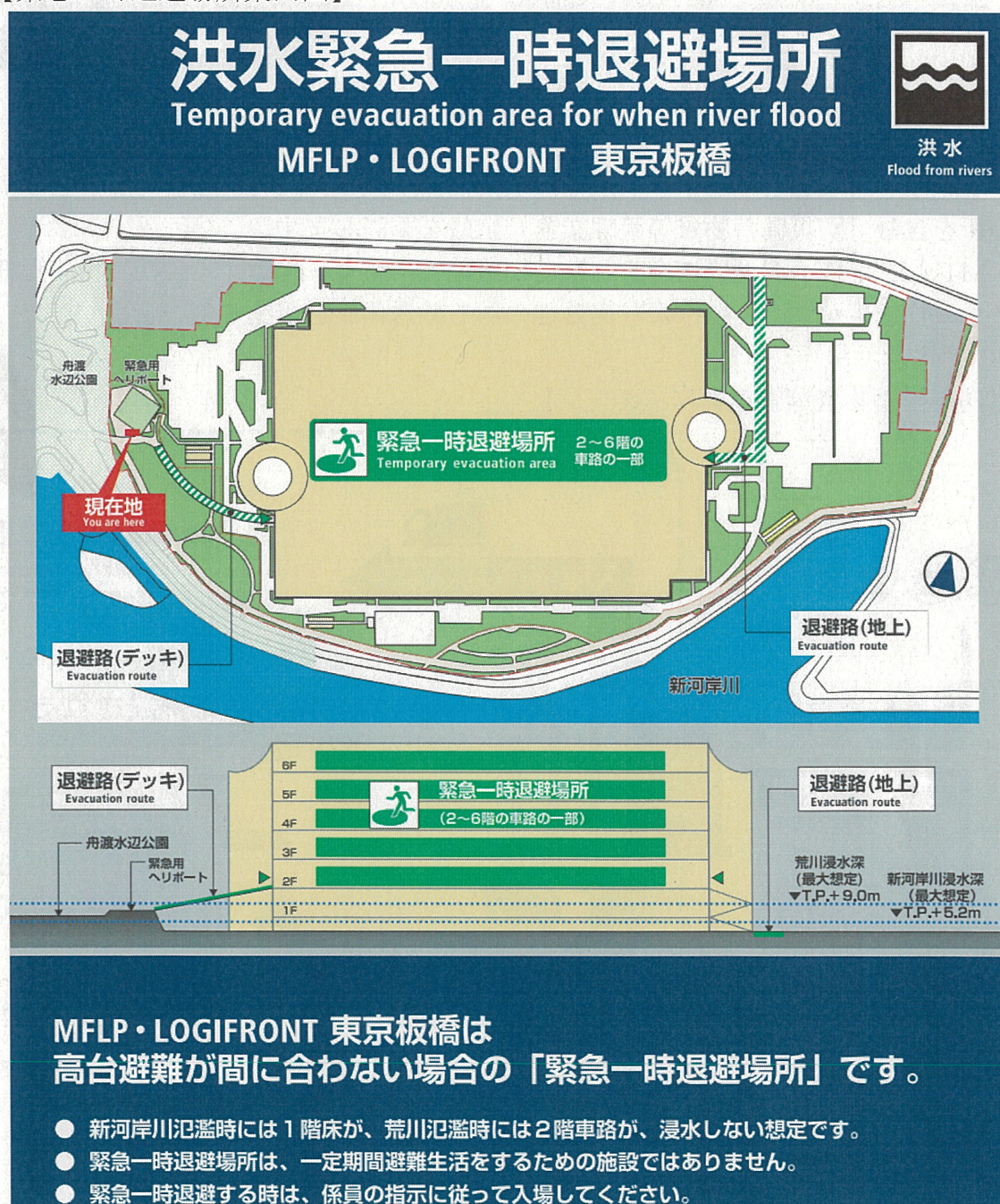
### 1 緊急一時退避場所の整備

台風などに伴う荒川氾濫の危険性が高まった場合の基本的な避難行動である「分散避難」や「高台避難」が間に合わない場合に備え、緊急的に命をつなぐために退避できる「緊急一時退避場所」を整備しました。

●退避スペース：2～6階の車路 計4,881㎡

●収容想定人数：約1,000人

【緊急一時退避場所案内図】

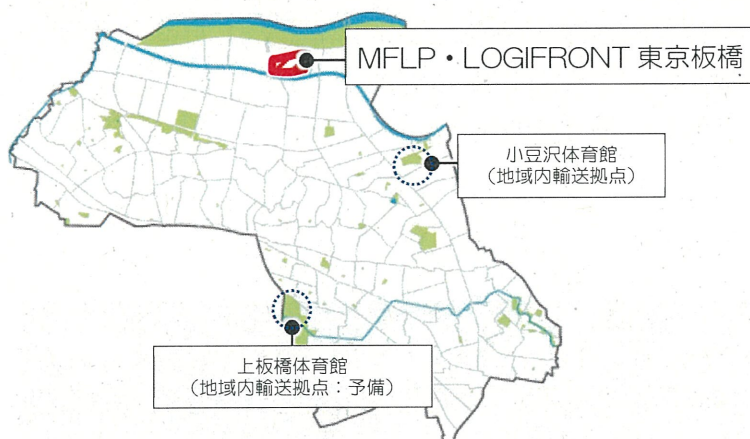




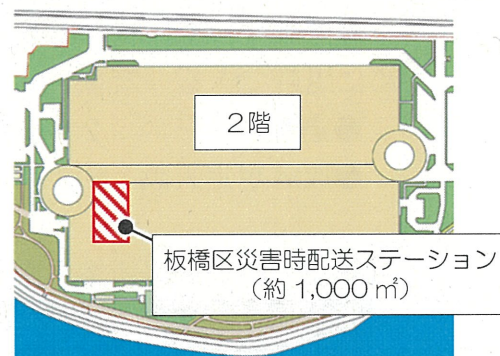
## 2 板橋区災害時配送ステーションの整備

災害が発生した際に、板橋区の備蓄物資および全国から送られてくる支援物資の保管・配送機能の強化を図るため、本施設内に約 1,000 ㎡の「板橋区災害時配送ステーション」を整備しました。

【輸送拠点の分布状況】



【MFLP内配置】



本施設の管理運営は、ヤマト運輸株式会社に委託し、区内避難所の備蓄倉庫 77 か所を含む「防災備蓄物資等管理業務」全般を委託します。

MFLP が持つ大型物流施設としての特性と、ヤマト運輸株式会社の物流管理のノウハウを生かすことで、より実効性のある輸送体制を構築していきます。

【防災備蓄物資等管理業務イメージ】

